

# JFA第24回全日本フットサル選手権大会茨城県大会 実施要項

1. 名称 JFA第24回全日本フットサル選手権大会茨城県大会
2. 主催 公益財団法人茨城県サッカー協会
3. 主管 公益財団法人茨城県サッカー協会フットサル委員会、茨城県フットサル連盟
4. 協賛 未定
5. 期日 2018年11月3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)
6. 会場 笠松運動公園体育館(3日)、久慈サンピア日立スポーツセンター(10日)  
麻生運動場体育館(17日)、水海道総合体育館(24日)

## 7. 参加資格

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下「日本協会」とする。)に、「フットサル1種」、または「フットサル2種」の種別で加盟登録された単独のチームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
- (2) 第1項のチームに所属する2003年4月1日以前に生まれた選手であることとし、男女の性別は問わない。
- (3) 外国籍選手の登録は、1チーム当たり3名までとする。但し、当該外国籍選手は、IFTC(国際フットサル移籍証明書)により移籍が完了し、出入国管理および難民認定法に定める在留資格を取得していること。
- (4) 選手は都道府県大会を通じて、他のチームで参加していないこと。
- (5) 傷害保険(スポーツ安全保険等)に加入していること。
- (6) フットサル審判資格者を帯同審判員として2名以上登録すること。

## 8. 参加チーム

先着16チームとする。

## 9. 参加申込

大会参加申込書を下記申込先へメールにて申込むこと。なお、1チームあたりの登録人数は、選手20名、役員6名を上限とする。

### 【申込先】

春田 幸一郎

E-mail [kow25\\_fgk@yahoo.co.jp](mailto:kow25_fgk@yahoo.co.jp)

### 【締め切り】

2018年10月5日(金)必着

選手の追加、変更は、2018年10月19日(金)を締め切りとし3名を上限に認められる。但し、第7条の大会参加資格を満たしていること。

## 10. 参加費

15,000円/チーム ※決勝ラウンド進出チームから追加徴収もあり得る。

### 【振込先口座】

銀行名 常陽銀行 水戸駅南支店 [店番133]

口座名 茨城県サッカー協会フットサル委員会 市毛和夫

口座番号 普通預金 1122654

※振り込みは必ずチーム名で行うこと。

### 【支払期日】

2018年10月5日(金)

## 11. 大会形式

関東フットサルリーグ所属チーム、茨城県フットサルリーグ上位チーム(第10節終了時点)をシード扱いとする。但し、参加チーム数により変更もあり得る。

### (1) 予選ラウンド

参加チームを3チームずつのグループに分けリーグ戦を行い、上位チームが決勝ラウンドへ進出する。順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち：3、引分け：1、負け：0とする。但し勝点合計が同じ場合は、以下の順序により順位を決定する。

- ① 当該チーム内の対戦成績
- ② 当該チーム内の得失点差
- ③ 当該チーム内の総得点数
- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム  
(ア) 警告1回 1ポイント  
(イ) 警告2回による退場1回 3ポイント

- (ウ) 退場1回 3ポイント
- (エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント

⑦ 抽選

(2) 決勝ラウンド

ノックアウト方式により順位を決定する。

12. 競技規則

大会実施年度の日本協会「フットサル競技規則」による。

13. 競技会規定

以下については、本大会で規定する。

- (1) ピッチサイズ 原則として、40m×20mとする。※会場によって変更あり。
- (2) 使用球 日本協会検定球のフットサル用4号ボール
- (3) ベンチの人数 ベンチに着席できる人数は、交代要員9名、役員5名を上限とする。ベンチ入り可能な役員5名については、当日試合出場しない選手は、あらかじめ承認を得て役員としてベンチ入りできる。但し、メンバー表に役員として記載すること。
- (4) 外国籍選手 ピッチ上に2名を超えて同時にプレーすることはできない。
- (5) 試合開始時に最少人数3名以上の競技者がいる状況において、マッチコーディネーションミーティングに提出されたメンバー表に記載されており、且つ大会参加資格を満たす競技者が試合開始時に不在の場合は次の通りとする。
  - ① エキップメントチェック後にピッチに到着した競技者は、その試合の前半に出場できず、ベンチにも入れない。
  - ② 後半開始前にピッチに到着した競技者は、ハーフタイムに主審の承認を得ることができれば、後半開始からその試合に出場することができ、ベンチに入ることもできる。
  - ③ 後半開始後にピッチに到着した競技者は、その試合に出場することができず、ベンチにも入れない。
  - ④ 監督、コーチ、役員も同様とする。
- (6) 競技者の用具
  - ① ユニフォーム
    - (ア) 大会登録後の番号及びユニフォーム色の変更は、日本協会の登録変更承認を得ること。
    - (イ) ユニフォームの広告表示については、日本協会の「ユニフォーム規定」に基づき、承認を得た場合にのみこれを認める。また、大会当日は申請書のコピーを必ず持参すること。
    - (ウ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、試合当日に持参すること。
    - (エ) チームのユニフォームのうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。ゴールキーパーについても同様である。
    - (オ) ゴールキーパーのトラウザーの着用を認める。但し、ショーツの登録と同色とする。
    - (カ) 選手は参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。番号は整数の1から99を使用するものとし、0は認められない。なお、1番はゴールキーパーのために用意される。
    - (キ) フィールドプレーヤーとしてプレーしていた競技者がゴールキーパーとしてプレーする場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同色・同デザインで、且つ自分自身の番号が付いたものを着用すること。なお、負傷や退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在で、かつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断によりゴールキーパーのユニフォームを前途以外で代用することができる。
    - (ク) ユニフォーム生地に着用布等を縫い付けて番号等を掲示する場合(通称：貼り番)は、事前に大会登録されたユニフォームの主たる部分色と同色布地を使用すること。また、掲示される番号についても登録されたユニフォームの番号色と同色とすること。尚、登録されたユニフォームの主たる部分色が複数色ある場合(縞柄等)は、大会運営委員会の判断および決定に従うものとする。但し、緊急性を要する事情、突発的な事情により急遽対応しなければならない時は、大会運営委員会の承諾を得た場合のみ前述の適用を除外することが出来る。その際はマッチコーディネーションミーティングの席で確認する。
    - (ケ) その他のユニフォームに関する事項については、「ユニフォーム規定」に則る。
  - ② シューズ  
靴底の接地面が紺色もしくは白色、または無色透明の屋内用フットサルシューズ、屋内用トレーニングシューズ、または体育館用シューズのみ使用可能とする。靴底の接地面が着色されたものは、ノンマーキングシューズでも使用不可とする。なお、ベンチ入り役員についても同様とする。
  - ③ ビブス  
交代要員は競技者と異なる色のビブスを着用しなければならない。また、チームは2色のビブスを用意し試合当日に持参すること。

(7) 試合時間

- ① 40分間(前後半各20分)のプレーイングタイムとする。
- ② ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(前半終了から後半開始まで)

(8) 勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)

- ① 予選ラウンド 引き分け
- ② 決勝ラウンド PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- ③ 決 勝 10分間(前後半各5分間)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

(9) 一方のチームの責に帰すべき事由により試合開催不能、または中止の場合(不戦敗など)は、その責に帰するチームは0対5で敗戦したものとみなす。

14. 代表者会議

期 日 2018年10月14日(日)17時より

会 場 麻生運動場体育館会議室

※代表者会議に無断で欠席したチームは失格とする。但し、その可否は主催者が決定する。なお、携行品については別途通知します。

15. 組 合 せ

代表者会議の席で抽選により決定する。

16. 懲 罰 規 定

- (1) 本大会期間中、異なる試合で警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。なお、規律・フェアプレー委員会の委員長は、公益財団法人茨城県サッカー協会フットサル委員会(以下「本委員会」とする。)の委員長とする。
- (3) その他、本大会の懲罰に関する事項については、規律・フェアプレー委員会に諮り、その選手、役員及びチームの処分を決定する。

17. 表 彰

優勝、準優勝、第3位チームに賞状を授与する。

18. 関 東 大 会

上位2チームは関東大会に出場する義務と権利を有する。

期 日 2019年1月12日(土)、13日(日)、19日(土)

会 場 笠松運動公園体育館(ひたちなか市) ※12日、13日

水海道総合体育館(常総市) ※19日

19. 障 害 補 償

怪我等の手当てについては救急車の手配は行いうが、その後の処置については該当チームで行うこと。主催者は参加者の負傷・障害に対して一切の責任を負わないものとする。

20. 審 判 員

主審および第2審判は、公益財団法人茨城県サッカー協会審判委員会より派遣する。第3審判およびタイムキーパーについては帯同審判が担当する。

21. そ の 他

- (1) 各チームの登録選手は、試合当日に電子選手証(写真貼付け)、または電子選手証の写しを持参すること。
- (2) 試合開始予定時間の60分前にマッチコーディネーションミーティングを実施する。
- (3) 大会要項に規定されていない事項については、本委員会において協議のうえ決定する。
- (4) ボールを使っての練習は、決められた場所以外禁止とする。また、参加チームは体育館使用規定を順守しゴミは全て持ち帰ること。
- (5) 本大会参加に要する経費は、すべて参加者負担とする。

22. 問 合 せ 先

公益財団法人茨城県サッカー協会フットサル委員会

委員長 宮川 直也

連絡先 090-4026-1117

E-mail [niceshot1023@yahoo.co.jp](mailto:niceshot1023@yahoo.co.jp)

公益財団法人茨城県サッカー協会フットサル委員会

1種担当 春田 幸一郎

連絡先 090-3877-7784

E-mail [kow25\\_fgk@yahoo.co.jp](mailto:kow25_fgk@yahoo.co.jp)